

令和 8 年度
枚方市施策評価報告書
【評価様式】

1. 施策の概要

施策シート【01_01】

危機管理部、健康福祉部

施策名称		防災体制の強化			
総合計画体系	基本目標等	1.安全で、利便性の高いまち			
	施策目標等	1.災害に対する備えができているまち			
めざす姿（主観的満足度）		防災体制が整っている			
概要		大規模災害の発生に備え、市の防災体制の強化を図る。			
計画期間 中の 実施予定 時期	R6年度	R7年度			R8年度
	R9年度				
	1. 備蓄品管理の効率化 ○備蓄・物流管理システム導入				
	2. 新庁舎の防災拠点機能の検討				
	3. 広域避難訓練の推進				
4. 家具固定器具の購入・設置支援		4. 家具固定器具等の購入補助 （自助促進事業） ○購入補助実施		5. 枚方消防署の更新に向けた取り組み ○事業支援委託（DB方式の場合）	
5. 枚方消防署の更新に向けた取り組み		8. 指定福祉避難所の設置			
6. 地域防災力の向上					
7. 災害時要配慮者の避難支援					

施策に紐づく具体的な取り組みの一覧

2. 市民満足度、取り組み実績および施策指標の分析

添付の『令和8年度市民意識調査結果』より、以下の分析結果を記載しています。

①年代別の比較

②昨年度（令和7年度調査）の結果との比較

市民満足度の分析

【満足度29.2%】

- ・年代別では、最も満足度が高いのは20歳台で43.5%、最も低いのは30歳台で25.3%である。
- ・昨年度と比較すると全体では、5.7ポイント低下したものの、若者世代（24歳以下）では、13.3ポイント上昇した。

取り組み実績および施策指標の分析

【取り組み実績】

- ・施策の進捗としては、概ね達成できている。

【施策指標】

- ・「枚方市備蓄目標量（重要物資備蓄品の備蓄量）達成率」、「広域避難（洪水時における避難）に関する訓練の実施校区数」、「登録災害ボランティア人数」は、目標を達成している。
- ・「広域避難ルール策定校区数」、「直接避難型福祉避難所指定件数」は、未達成である。
- ・「消防団員の訓練や啓発活動の従事人数」は、未達成であるが、目標には近づいている。

第3期実行計画の各施策に紐づく具体的な取り組みの達成状況と施策指標（客観的指標）の達成状況を記載しています。

3. 具体的な取り組みの進捗と施策指標の実績

施策シート【01_01】－ 具体的な取り組み

施策名称		防災体制の強化
6. 地域防災力の向上		
取り組みの内容	R6年度	R7年度
消防団と自主防災組織役員とのコミュニケーションを取る機会を設ける。	地域との連携を深めるため、自主防災組織ネットワーク会議に団長などが出席。	継続
取り組み課題・今後の方向性	取り組み結果	取り組み結果
地域住民と接する機会を増やし、災害発生時の救助活動や避難所運営支援など、地域に根付いた組織を目指した活動を進めていく。	自主防災組織ネットワーク会議へ副団長以上の幹部が出席し、地域との連携を深めた。	校区自主防災会の訓練参加や、自主防災組織ネットワーク会議へ副団長以上の幹部が出席し、地域との連携を深めた。
年度ごとの達成状況	◎	◎

【具体的な取り組みの進捗】

●取り組み結果

年次の取り組み内容に対応した取り組み実績

●年度ごとの達成状況

◎：達成

○：一部未達成、達成に向け進行中

△：課題や遅れあり

×：多くが未着手

●「取り組み課題・今後の方向性」

具体的な取り組みにおける達成状況等を踏まえた課題や今後の方向性

指標名	指標の説明	R6	R7	R8
消防団員の訓練や啓発活動の従事人数	消防団員の訓練や啓発活動の従事人数（自主防災訓練への参加含む）	7,350	7,400	7,400
各年度の実績		5,333	5,886	5,886
【施策指標の分析 R6】 自主防災組織が各校区で開催している防災訓練に依頼を受けて参加するとともに、毎月の定期訓練や啓発活動へも参加した。				
【施策指標の分析 R7】 自主防災組織が各校区で開催している防災訓練に依頼を受けて参加するとともに、毎月の定期訓練や啓発活動へも参加した。				

【施策指標の実績】

●各年度の実績

各年度の目標に対する令和8年3月末時点実績

●施策指標の分析

指標の実績を踏まえた要因や今後の見込み、方向性

4. 取組満足度と関心・期待度・ニーズの4象限マトリクス分析

防災体制が整っている
01_01 防災体制の強化

目指すべき姿（施策満足度）『防災体制が整っている』に紐づく全取り組み⇒**青丸**
上記のうち施策シート『01_01 防災体制の強化』に紐づく取り組み⇒**赤ダイヤモンド**◆

施策満足度

満足	不満足	どちらとも いえない わからない
29.2%	15.8%	55.1%

「決め手になった取り組みはない」と回答した人

項目ごとに小数点以下第2位で四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

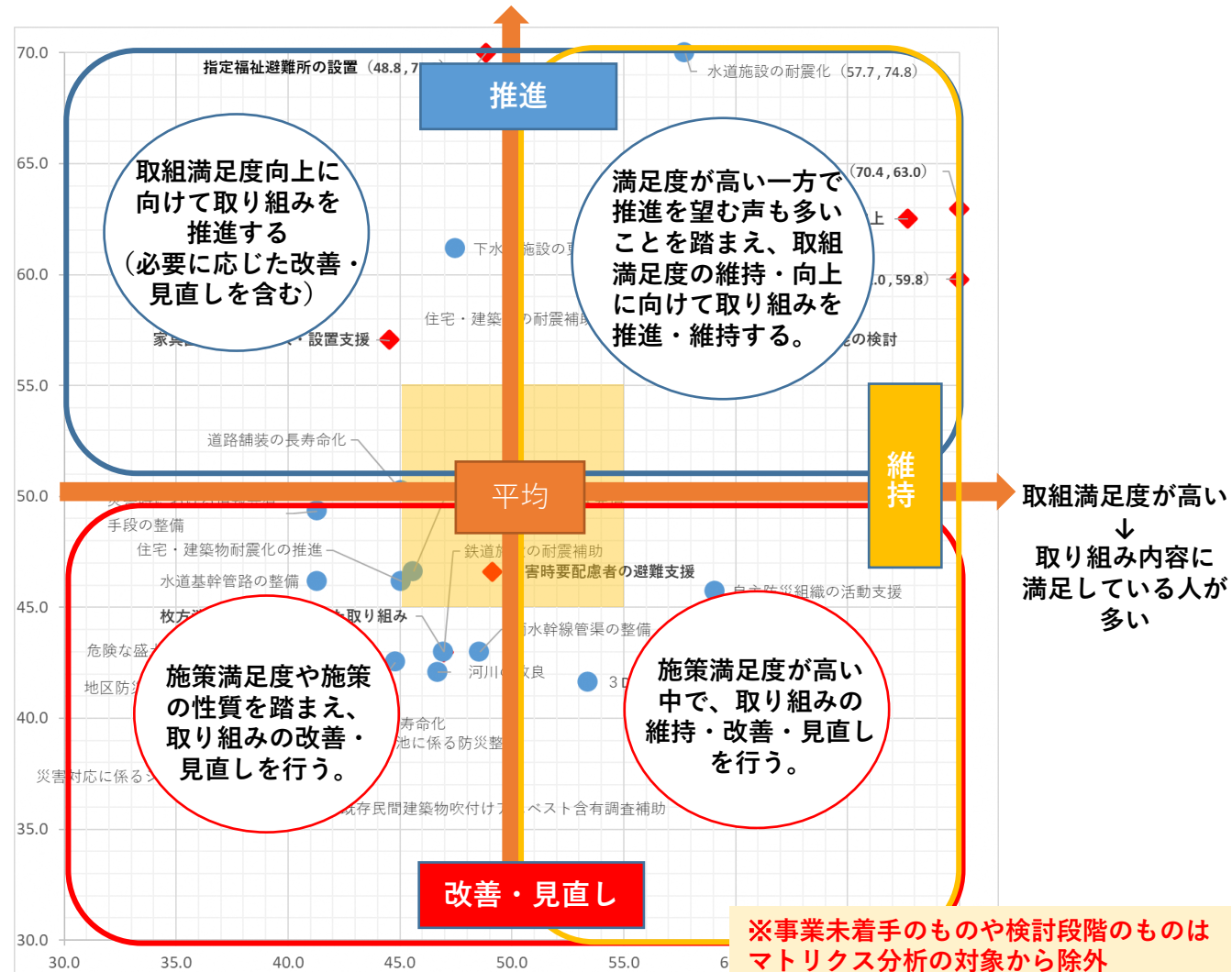
※満足度の定義は、「満足している」「やや満足している」を選択した人
不満足の定義は、「あまり感じていない」「満足していない」を選択した人

施策に紐づく取り組み（◆）の分析結果を記載しています。

施策の分析

・「1. 備蓄品管理の効率化」、「3. 広域避難訓練の推進」、「6. 地域防災力の向上」は、関心・期待度・ニーズと取組満足度がともに高く、昨今の災害発生に対する防災意識の高まりが影響していると考えられる。

関心・期待度・ニーズが高い→取り組みの推進を望む人が多い



5. 評価を踏まえた今後の方向性

第3期実行計画の実績・進捗状況を踏まえた今後の方向性について記載しています。

今後の方向性

- ・施策全体の方向性としては、広域避難ルールの策定や指定福祉避難所の設置といったいざ災害が発生した時の避難体制の整備については、災害時要配慮者への支援とあわせて、より一層の取り組みを進めていく。また、引き続き、大規模災害の発生時に備え、効率的な備蓄品管理の推進や、地域防災力の向上に向けた地域との連携強化を進めていく。
- ・地域防災力の向上のため、住民一人一人が防災意識を持ってその知識や技術を身につけ、自助ができる住民を増やす取り組みを進めていく。
- ・特に「4. 家具固定器具等の購入補助（自助促進事業）」については、令和8年度からの実施を予定しており、それに向けて取り組みを進める。また、自分の命は自分で守る自助の必要性の発信に併せ、制度周知を図っていく。

6. 施策評価員による評価【外部評価】

対象施策（23施策）のみ、内部評価を踏まえた評価員の評価内容を記載しています。

施策評価員による評価

- ・自助促進の方策は家具固定器具購入補助にとどまらず、さらなる検討が必要ではないか。
- ・多世代に向けた効果的かつ効率的な情報発信体制の整備や、災害時要配慮者に関する個人情報の適切な取り扱いの周知の他、モデルとなる防災地区を指定等、他の地区へ折にふれて好事例等の横展開などの試みを検討してはどうか。
- ・過去の避難所開設時の実感として避難所におけるトイレ問題は重要と考える。小学校体育館について空調が入ったことは大きな改善であるが、トイレの位置が避難所として適切なものかも検証する必要があるのではないかと。また、トイレが避難所となる体育館の近くになれば台風時に利用しにくく、特に要支援者が利用しにくいいため、トイレ位置の変更または新設あるいはトイレまでの通路の風雨防止などの検討が必要ではないか。
- ・満足度が低い属性に対する課題を明確にして取り組みを進めるべきと考える。

目 次

評価様式

基本目標 1 安全で、利便性の高いまち

★01_01_防災体制の強化	1
01_02_防災意識の向上	14
01_03_都市基盤の計画的な維持管理	25
01_04_浸水被害の軽減	37
02_01_災害情報の迅速かつ正確な提供	42
03_01_防犯体制の整備	52
03_02_消費者被害へ意識啓発・相談体制の充実	59
04_01_幹線道路の整備	67
04_02_京阪連続立体交差事業の推進	80
04_03_広域的な幹線道路等の整備	87
04_04_快適な歩行空間の整備	94
04_05_交通安全意識の向上	105
★05_01_公共交通機関の利用促進	112
★05_02_空き家・空き地等の適正管理及び活用促進	118
05_03_公共交通を軸とした都市機能の集約化	127

基本目標 2 健やかに、生きがいを持って暮らせるまち

06_01_からだの健康の増進	137
06_02_こころの健康の維持・増進	156
06_03_難病患者が地域で安心して暮らせる環境づくり	165
07_01_健康に関する危機管理体制の充実	171
07_02_人と動物の共生	181

目 次

08_01_医療体制の充実	187
09_01_高齢者が地域で安心して暮らせる環境づくり	195
09_02_介護予防の推進	211
09_03_高齢者の社会参加の促進	221
★10_01_社会参加の促進に向けた福祉サービスの充実	228
★10_02_障害への理解促進、地域との交流の場の提供	241
11_01_人権教育・啓発の推進	248
★11_02_人権侵害への支援の充実	255
11_03_多文化共生社会の形成の支援	264
★12_01_女性活躍の推進	274
13_01_平和意識の向上	287
基本目標3 一人ひとりの成長を支え、豊かな心をはぐくむまち	
14_01_安心して妊娠・出産できる環境づくり	293
★15_01_子どもが安心して教育・保育を受けられる環境づくり	305
★15_02_子育てに対する相談体制及び地域の子育て支援の充実	337
★15_03_児童虐待等の発生予防、早期発見、早期対応	349
★15_04_子どもや若者が社会生活を円滑に営める環境づくり	357
16_01_小中一貫教育の推進	374
16_02_子どもの確かな学力の定着を図る	380
★16_03_高い指導力と意欲を持つ教職員の育成	398
16_04_子どもの豊かな人間性を育む	409
★16_05_いじめの未然防止・早期発見	420
16_06_不登校対策の強化	427

目 次

16_07_教育環境の充実	437
16_08_支援教育の充実	449
16_09_子どもの健やかな身体の育成	457
★17_01_生涯学習の推進	464
★17_02_図書館運営・機能の充実	471
17_03_文化芸術活動の推進	488
17_04_スポーツ活動の推進	496
基本目標 4 地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち	
18_01_枚方市駅周辺の再整備	515
18_02_枚方市駅周辺の賑わいづくりの創出	526
19_01_歴史文化遺産の活用と情報発信の充実	532
★19_02_観光施策の推進	543
19_03_若者の交流機会の創出	575
19_04_国際化施策の推進	585
★20_01_雇用対策の充実	590
★21_01_市内産業の活性化	602
★21_02_創業（起業）できる環境づくりの充実	616
★22_01_農業の担い手の育成、就農促進	624
基本目標 5 自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち	
23_01_里山など豊かな自然空間の保全・継承	635
24_01_自然とふれあい親しめる場の確保	642
24_02_緑化活動の活性化	647
25_01_ごみ発生抑制を最優先にした 4 R の推進	653

目 次

26_01_大気・土壌汚染等の公害の未然防止	666
26_02_産業廃棄物などの発生抑制や適性処理の推進	671
26_03_安全で良質な水を将来にわたって安定的に供給	677
26_04_生活排水等の適正処理	685
★27_01_ゼロカーボンシティの推進	692
28_01_景観に配慮した美しいまち並みの形成	702
計画推進	
29_01_広報・広聴活動の充実	711
★29_02_D Xの推進	721
30_01_市民などによるまちづくり活動の活性化	746
★31_01_行財政改革の推進	757
31_02_市有建築物の管理コストの平準化・計画的な更新・改修	774
31_03_公共施設の最適配置	779
31_04_組織体制の充実	786
31_05_個人情報の適正管理・セキュリティ対策の強化	792
31_06_目標達成に向け意欲的に学び成長する職員の育成	798
32_01_広域連携	808
★は外部評価対象施策（23施策）	

1. 施策の概要

施策シート【01_01】

危機管理部、健康福祉部

施策名称		防災体制の強化			
総合計画体系	基本目標等	1.安全で、利便性の高いまち			
	施策目標等	1.災害に対する備えができているまち			
めざす姿（主観的満足度）		防災体制が整っている			
概要		大規模災害の発生に備え、市の防災体制の強化を図る。			
計画期間 中の 実施予定 時期	R6年度	R7年度			R8年度
	R9年度				
	1. 備蓄品管理の効率化 ○備蓄・物流管理システム導入				
	2. 新庁舎の防災拠点機能の検討				
	3. 広域避難訓練の推進				
4. 家具固定器具の購入・設置支援					
5. 枚方消防署の更新に向けた取り組み					
6. 地域防災力の向上					
7. 災害時要配慮者の避難支援					
4. 家具固定器具の購入・設置支援 ○家具固定器具の補助及び設置 支援開始					
8. 指定福祉避難所の設置					
4. 家具固定器具等の購入補助 （自助促進事業） ○購入補助実施					
5. 枚方消防署の更新に向けた取り組み ○事業支援委託（DB方式の場合）					

2. 市民満足度、取り組み実績および施策指標の分析

市民満足度の分析

【満足度29.2%】

- ・年代別では、最も満足度が高いのは20歳台で43.5%、最も低いのは30歳台で25.3%である。
- ・昨年度と比較すると全体では、5.7ポイント低下したものの、若者世代（24歳以下）では、13.3ポイント上昇した。

取り組み実績および施策指標の分析

【取り組み実績】

- ・施策の進捗としては、概ね達成できている。

【施策指標】

- ・「枚方市備蓄目標量（重要物資備蓄品の備蓄量）達成率」、「広域避難（洪水時における避難）に関する訓練の実施校区数」、「登録災害ボランティア人数」は、目標を達成している。
- ・「広域避難ルールの策定校区数」、「直接避難型福祉避難所指定件数」は、未達成である。
- ・「消防団員の訓練や啓発活動の従事人数」は、未達成であるが、目標には近づいている。

3. 具体的な取り組みの進捗と施策指標の実績

施策シート【01_01】－ 具体的な取り組み

危機管理部、健康福祉部、福祉事務所

施策名称	防災体制の強化
------	---------

1. 備蓄品管理の効率化

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
備蓄品管理台帳のデジタル化として、備蓄・物流管理システムを導入・運用。	・備蓄・物流管理システム導入 ・図上訓練での活用	継続	継続	継続	危機管理 対策推進 課
取り組み課題・今後の方向性	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	備考
円滑にシステムを利用できるようにマニュアルの改定や職員研修、訓練での活用など活用機会の増加を目指していく必要がある。	備蓄・物資管理システムを導入し、図上訓練においても活用した。	備蓄・物資管理システムの操作研修を行い、図上訓練など訓練で活用した。			
年度ごとの達成状況	◎	◎			

※関連指標なし

施策シート【01_01】－ 具体的な取り組み

危機管理部、健康福祉部、福祉事務所

施策名称	防災体制の強化
------	---------

2. 新庁舎の防災拠点機能の検討

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
新庁舎建設にむけて大規模災害時の防災拠点（災害対策本部）としての機能を検討。	・必要機能の精査 （施設機能、本部機能、最適なレイアウト） ・先進事例の把握	継続	継続	継続	危機管理 対策推進 課
取り組み課題・今後の方向性	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	備考
引き続き防災拠点としての機能の向上に向けた調査・検討を行っていく必要がある。	新庁舎ワーキングチームでは、各機能の精査や先進地視察等を行った。	先進事例の視察を行い、新庁舎ワーキングチームで、防災機能について検討した。			
年度ごとの達成状況	◎	◎			

※関連指標なし

施策名称	防災体制の強化
------	---------

3. 広域避難訓練の推進

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
広域避難ルールの策定と訓練の実施。	広域避難ルールの策定と訓練の実施	継続	継続	継続	危機管理 対策推進 課
取り組み課題・今後の方向性	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	備考
対象校区にルールの策定を働きかけるとともに、策定済みの校区に対しては、校区内訓練や総合防災訓練への参加などを呼びかけ、訓練を通じて防災・減災への取り組みを推進させていく。	長尾校区における広域避難のルール策定と訓練を実施した。	新たなルール策定はなかったが、対象校区における施設見学が実施された。			
年度ごとの達成状況	◎	○			

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
広域避難ルールの策定校区数	避難所が浸水想定区域内に位置している15校区のうち、広域避難ルールを策定済みの校区数（累計）	8	10	12	15	校区	危機管理対策推進課	3. 広域避難訓練の推進
各年度の実績		7	7			校区	備考	
【施策指標の分析 R6】 新たに長尾校区において策定することができた。広域避難は避難する側と避難者を受ける側双方の合意が必要なため策定は容易ではないが、引き続き校区への働きかけを続けていく。								
【施策指標の分析 R7】 新たな広域避難ルールを策定した校区はなかった。引き続き、広域避難が必要な校区への働きかけを続けていく。								
広域避難（洪水時における避難）に関する訓練の実施校区数	広域避難（洪水時における避難）に関する訓練を実施した校区数（累計）	5	7	7	8	校区	危機管理対策推進課	3. 広域避難訓練の推進
各年度の実績		7	7			校区	備考	
【施策指標の分析 R6】 防災訓練で伊加賀・枚方の2校区に対し広域避難訓練を実施した。役員等による事前訓練を含めると4回の実施となる。								
【施策指標の分析 R7】 殿二・牧野・招堤・西牧野・平野・小倉校区で災害時1次避難所として利用する大阪歯科大学牧野学舎の施設見学を実施した。								

施策シート【01_01】－ 具体的な取り組み

危機管理部、健康福祉部、福祉事務所

施策名称	防災体制の強化
------	---------

4. 家具固定器具等の購入補助（自助促進事業）

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
全市民を対象に、家具固定器具等の購入補助事業を実施。 (R8～R10)	支援制度の構築（実施手法の精査）	避難行動要支援者を対象にアンケート調査を実施することにより、効果的な実施手法を検討	購入補助実施	購入補助実施	危機管理対策推進課
取り組み課題・今後の方向性	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	備考
令和8年度実施予定。	令和7年度にアンケートを実施し、手法の再検討を行う方針を決定した。	アンケート調査によりニーズ把握をしたうえで、令和8年度からの購入補助実施に向け取り組んだ。			
年度ごとの達成状況	○	◎			

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
購入補助した世帯（自助の取り組み実施件数）	購入補助した世帯（自助の取り組み実施件数）	—	—	5,700	5,700	世帯	危機管理対策推進課	4. 家具固定器具の購入・設置支援
各年度の実績		—	—			件	備考	
【施策指標の分析 R6】 令和8年度実施予定。								
【施策指標の分析 R7】 令和8年度からの事業開始に向けた準備を行った。								

施策シート【01_01】－ 具体的な取り組み

危機管理部、健康福祉部、福祉事務所

施策名称	防災体制の強化
------	---------

5. 枚方消防署の更新に向けた取り組み

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
枚方消防署の移転・建て替えの実施。	・地元協議【市・消防組合】 ・アドバイザー契約に向けた仕様精査【市・消防組合】	・アドバイザー契約締結【消防組合】 ・機能精査、発注仕様書精査【市・消防組合】	・「枚方消防署新庁舎整備基本計画の策定」、「枚方消防署新庁舎整備に係る民間活力導入可能性調査」を委託により実施（枚方寝屋川消防組合）	・事業支援委託（DB方式の場合）	危機管理 対策推進 課
取り組み課題・今後の方向性	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	備考
旧中宮北小学校跡地を候補地案として選定し、優先して検討することとした。（枚方市） 今後、枚方消防庁舎の整備に向け、基本計画の策定などに取り組んでいく。（枚方寝屋川消防組合）	地元校区コミュニティへの説明を実施した。	地元校区コミュニティ協議会への説明を実施し、発注に向けた仕様書精査を行った。			
年度ごとの達成状況	○	◎			

※関連指標なし

施策シート【01_01】－ 具体的な取り組み

危機管理部、健康福祉部、福祉事務所

施策名称	防災体制の強化
------	---------

6. 地域防災力の向上

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
消防団と自主防災組織役員とのコミュニケーションを取る機会を設ける。	地域との連携を深めるため、自主防災組織ネットワーク会議に団長などが出席。	継続	継続	継続	危機管理 対策推進 課
取り組み課題・今後の方向性	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	備考
地域住民と接する機会を増やし、災害発生時の救助活動や避難所運営支援など、地域に根付いた組織を目指した活動を進めていく。	自主防災組織ネットワーク会議へ副団長以上の幹部が出席し、地域との連携を深めた。	校区自主防災会の訓練参加や、自主防災組織ネットワーク会議へ副団長以上の幹部が出席し、地域との連携を深めた。			
年度ごとの達成状況	◎	◎			

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
消防団員の訓練や啓発活動の従事人数	消防団員の訓練や啓発活動の従事人数 (自主防災訓練への参加含む)	7,350	7,400	7,450	7,500	人	危機管理対策 推進課	6. 地域防災力の向上
各年度の実績		5,333	5,886			人	備考	
【施策指標の分析 R6】 自主防災組織が各校区で開催している防災訓練に依頼を受けて参加するとともに、毎月の定期訓練や啓発活動へも参加した。								
【施策指標の分析 R7】 自主防災組織が各校区で開催している防災訓練に依頼を受けて参加するとともに、毎月の定期訓練や啓発活動へも参加した。								

施策名称	防災体制の強化
------	---------

7. 災害時要配慮者の避難支援

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
災害時に活動するボランティアを募り必要な研修等を実施するとともに、避難支援者等として多くの市民の協力が得られるよう、地域住民等を対象とした研修や講習会を実施。	・災害ボランティアの募集・研修 ・地域での活動の支援を拡充。	継続	継続	継続	健康福祉政策課
取り組み課題・今後の方向性	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	備考
災害発生時に災害ボランティアセンターの設置・運営や災害ボランティア活動が円滑に実施することができるように、市民を対象とした周知・啓発活動に取り組む。	市民や団体を対象にした出前講座を実施したほか、現任の災害ボランティアを対象にした研修や災害ボランティアシミュレーション訓練を開催した。 (参加人数 522人)	市民講座や出前講座を継続して実施した。(参加人数436人) 災害ボランティア登録者の研修及び市民講座として開催した「いつか来る”その時”に備える」には86名の方が参加され、年度中に新たに19名が災害ボランティア登録をされた。			
年度ごとの達成状況	◎	◎			

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
登録災害ボランティア人数	枚方市ボランティアセンターに登録されている災害ボランティアの人数（毎年度末時点）	60	65	80	85	人	健康福祉政策課	7. 要配慮者の避難支援
各年度の実績		60	79			人	備考	
【施策指標の分析 R6】 講座や研修などを重点的に実施したことで、指標目標以上の参加者となった。今後も継続して取り組みを進めていく。								
【施策指標の分析 R7】 市民講座にて災害ボランティアの必要性について理解いただくことができ、指数目標以上の実績となった。								

施策シート【01_01】－ 具体的な取り組み

危機管理部、健康福祉部、福祉事務所

施策名称	防災体制の強化
------	---------

8. 指定福祉避難所の設置

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
災害時の避難生活において、特別の配慮が必要な方に適切に対処するため、直接避難に対応できる福祉避難所の指定に取り組む。	－	福祉避難所の指定及び要配慮者に適した備蓄物資・機材の整備にかかる補助金の交付	継続	継続	健康福祉政策課、障害支援課
取り組み課題・今後の方向性	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	備考
引き続き直接避難型指定福祉避難所の指定促進に努めるとともに、実際の福祉避難所運営に向けたマニュアル策定に取り組む。	－	直接避難型指定福祉避難所の制度構築を行い、高齢者施設4施設、障害者施設3施設を指定。うち、申請のあった6施設へ補助金交付を行った。			
年度ごとの達成状況		○			

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
直接避難型福祉避難所指定件数	直接避難型の福祉避難所として指定した件数	－	20	10	10	施設	健康福祉政策課、障害支援課	8. 指定福祉避難所の設置
各年度の実績		－	7			施設	備考	
【施策指標の分析 R6】 －								
【施策指標の分析 R7】 目標値を下回る結果となったが、今後も継続して指定促進に取り組む。								

取り組みには紐づかない施策指標

施策シート【01_01】－ 施策指標

危機管理部、健康福祉部、福祉事務所

施策名称		防災体制の強化						
指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
枚方市備蓄目標量（重要物資備蓄品の備蓄量）達成率	（アルファ化米と毛布の備蓄量）／（備蓄目標量）	100	100	100	100	%	危機管理対策推進課	-
各年度の実績		100	100			%	備考	
【施策指標の分析 R6】 大阪府及び府下市町村で構成する協議体で定められている備蓄すべき物資は確実に備蓄できている。								
【施策指標の分析 R7】 大阪府及び府下市町村で構成する協議体で定められている備蓄すべき物資は確実に備蓄し、消費期限の管理もできている。								

4. 取組満足度と関心・期待度・ニーズの4象限マトリクス分析

防災体制が整っている
01_01 防災体制の強化

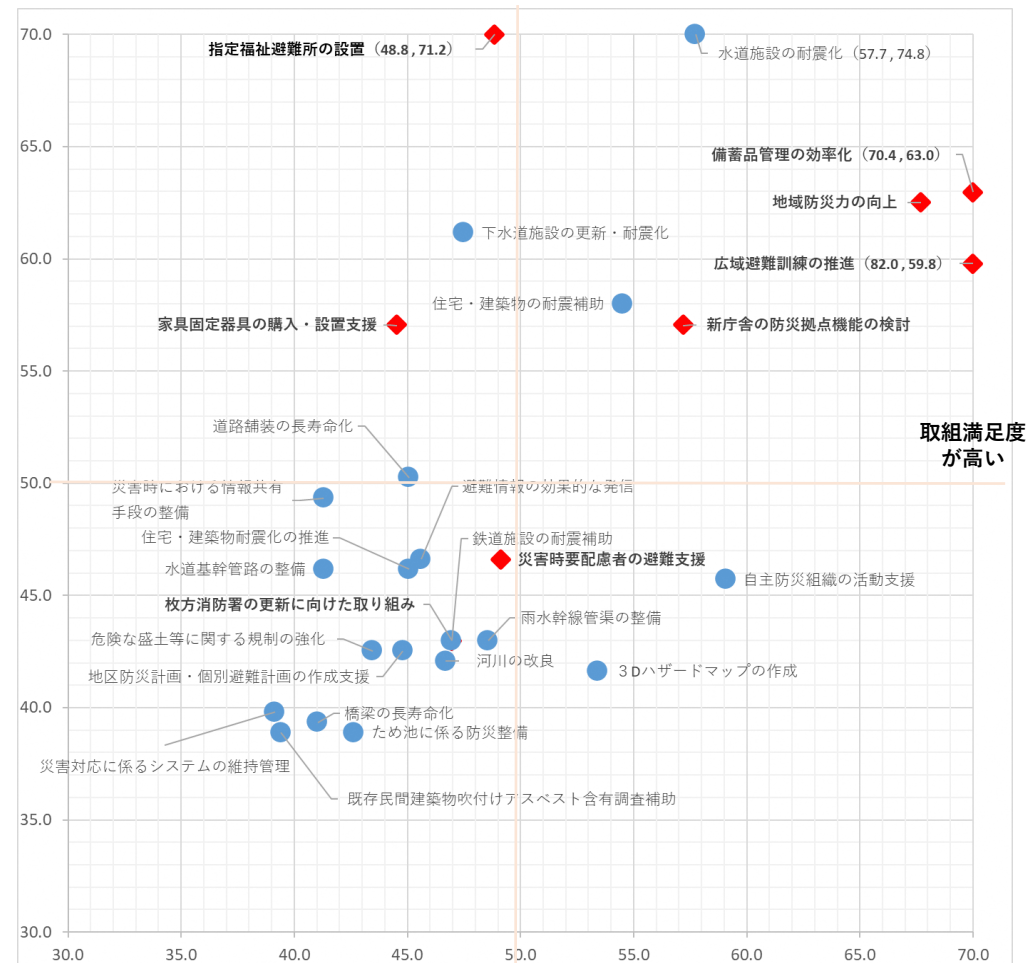
施策満足度		
満足	不満足	どちらとも いえない わからない
29.2%	15.8%	55.1%
「決め手となった取り組みはない」と 回答した人		
13.7%		

※回答数／全体数1,762

※満足の定義は、「感じている」「やや感じている」を選択した人
不満足の定義は、「あまり感じていない」「感じていない」を選択した人

※各施策における取組満足度や関心・期待・ニーズを分析するものであり、異なる施策間での比較を行うものではありません。

関心・期待度・ニーズが高い



目指すべき姿
(施策満足度)『防災体制が整っている』に紐づく全取り組み⇒
青丸●

上記のうち施策シート
『01_01 防災体制の強化』に紐づく取り組み⇒
赤ダイヤ◆

施策の分析

- ・「1. 備蓄品管理の効率化」、「2. 新庁舎の防災拠点機能の検討」、「3. 広域避難訓練の推進」、「6. 地域防災力の向上」は、関心・期待度・ニーズと取組満足度がともに高く、昨今の災害発生に対する防災意識の高まりが影響していると考えられる。
- ・「4. 家具固定器具等の購入補助（自助促進事業）」は取組満足度は低いものの、関心・期待度・ニーズは高い。
- ・「7. 災害時要配慮者の避難支援」は、関心・期待度・ニーズと取組満足度はともに平均的である。
- ・「5. 枚方消防署の更新に向けた取り組み」は、関心・期待度・ニーズは低いものの、取組満足度は平均的である。
- ・「8. 指定福祉避難所の設置」は満足度は平均的であるものの、関心・期待度・ニーズが高い。

5. 評価を踏まえた今後の方向性

今後の方向性

- ・施策全体の方向性としては、広域避難ルールの策定や指定福祉避難所の設置といったいざ災害が発生した時の避難体制の整備については、災害時要配慮者への支援とあわせて、より一層の取り組みを進めていく。また、引き続き、大規模災害の発生時に備え、効率的な備蓄品管理の推進や、地域防災力の向上に向けた地域との連携強化を進めていく。
- ・地域防災力の向上のため、住民一人一人が防災意識を持ってその知識や技術を身につけ、自助ができる住民を増やす取り組みを進めていく。
- ・特に「4. 家具固定器具等の購入補助（自助促進事業）」については、令和8年度からの実施を予定しており、それに向けて取り組みを進める。また、自分の命は自分で守る自助の必要性の発信に併せ、制度周知を図っていく。

6. 施策評価員による評価【外部評価】

施策評価員による評価

- ・自助促進の方策は家具固定器具購入補助にとどまらず、さらなる検討が必要ではないか。
- ・多世代に向けた効果的かつ効率的な情報発信体制の整備や、災害時要配慮者に関する個人情報の適切な取り扱いの周知の他、モデルとなる防災地区を指定等、他の地区へ折にふれて好事例等の横展開などの試みを検討してはどうか。
- ・過去の避難所開設時の実感として避難所におけるトイレ問題は重要と考える。小学校体育館について空調が入ったことは大きな改善であるが、トイレの位置が避難所として適切なものかも検証する必要があるのではないかと。また、トイレが避難所となる体育館の近くになれば台風時に利用しにくく、特に要支援者が利用しにくいいため、トイレ位置の変更または新設あるいはトイレまでの通路の風雨防止などの検討が必要ではないか。
- ・満足度が低い属性に対する課題を明確にして取り組みを進めるべきと考える。

1. 施策の概要

施策シート【01_02】

危機管理部、都市整備部

施策名称		防災意識の向上			
総合計画体系	基本目標等	1.安全で、利便性の高いまち			
	施策目標等	1.災害に対する備えができているまち			
めざす姿（主観的満足度）		防災体制が整っている			
概要		市民の防災意識の啓発や建築物の耐震化の促進など、地域防災力の向上を図る。			
計画期間 中の 実施予定 時期	R6年度				
	1. 住宅・建築物の耐震補助 2. 住宅・建築物耐震化の推進 3. 地区防災計画・個別避難計画の作成支援 4. 自主防災組織の活動支援 5. 危険な盛土等に対する規制の強化				
	R7年度	6. 既存民間建築物吹付けアスベスト含有調査補助			
	R8年度	3. 地区防災計画・個別避難計画の作成支援 ○全44校区での地区防災計画策定完了			
	R9年度				

2. 市民満足度、取り組み実績および施策指標の分析

市民満足度の分析

【満足度29.2%】

- ・年代別では、最も満足度が高いのは20歳台で43.5%、最も低いのは30歳台で25.3%である。
- ・昨年度と比較すると全体では、5.7ポイント低下したものの、若者世代（24歳以下）では、13.3ポイント上昇した。

取り組み実績および施策指標の分析

【取り組み実績】

- ・施策の進捗としては、概ね達成できている。

【施策指標】

- ・「耐震補助制度を活用し改修・除却された木造住宅等の件数（累計）」、「耐震化に関する所有者への周知啓発件数」、「自主防災組織による訓練実施回数」は、目標を達成している。「地区防災計画の策定件数」、「個別避難計画の策定件数（自治会）」、「個別避難計画の策定件数（セルフプラン方式）」、「吹付けアスベスト含有調査補助制度を活用し、分析調査を実施した件数（累計）」は、未達成である。

3. 具体的な取り組みの進捗と施策指標の実績

施策シート【01_02】－ 具体的な取り組み

危機管理部、都市整備部

施策名称	防災意識の向上
------	---------

1. 住宅・建築物の耐震補助

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
旧耐震基準の住宅・建築物に対する各種耐震補助の実施。	補助制度の運用	継続	「住宅建築物耐震10ヵ年戦略・大阪」に基づく補助制度の見直し	枚方市住宅・建築物耐震改修促進計画（第Ⅱ期）にかわる、耐震化の促進計画による新制度の運用開始	住宅まちづくり課
取り組み課題・今後の方向性	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	備考
・耐震診断を行った物件に対する改修工事の実施促進や、耐震化に対する関心が低い所有者への意識啓発が必要。	・昨年度と比較して、各補助メニューの申請件数を伸ばす事が出来た。（累計850件）	・継続して各補助メニューの申請件数を伸ばす事が出来た。（累計910件）			
年度ごとの達成状況	◎	◎			

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
耐震補助制度を活用し改修・除却された木造住宅等の件数（累計）	「枚方市木造住宅耐震改修事業補助金交付要綱」に基づく木造住宅耐震改修補助等により改修・除却（解体）した件数（累計）	850	900	950	1000	件	住宅まちづくり課	1. 住宅・建築物の耐震補助 2. 住宅・建築物耐震化の推進
各年度の実績		850	910			件		備考
【施策指標の分析 R6】 補助要件の緩和に加え、年初の震災により申請件数が増加した結果、目標を達成できた。								
【施策指標の分析 R7】 耐震補助金の予算範囲内で、各補助メニュー間の調整を行う運用に変更したことによる補助件数の増加や、例年の周知啓発に加え、デジタルサイネージやバス車内広告の掲示を実施したことにより、目標以上の達成となった。								
耐震化に関する所有者への周知啓発件数	耐震化が進んでいない地域へのアンケートの発送数及び耐震診断後のフォローアップのDM数の合計	500	500	750	750	件	住宅まちづくり課	1. 住宅・建築物の耐震補助 2. 住宅・建築物耐震化の推進
各年度の実績		967	526			件		備考
【施策指標の分析 R6】 例年の周知啓発に加え、補助要件緩和による再度のフォローアップを実施したことにより目標以上の達成となった。								
【施策指標の分析 R7】 令和6年度の耐震診断補助件数の増加に伴い、診断後のフォローアップのDMが増えたため、目標以上の達成となった。								

施策名称	防災意識の向上
------	---------

2. 住宅・建築物耐震化の推進

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
旧耐震基準の住宅・建築物に対する各種耐震化の必要性和各種耐震補助制度の周知・啓発。	各種防災イベントへの参加、出前講座の実施	継続	継続	継続	住宅まちづくり課
取り組み課題・今後の方向性	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	備考
・継続的な周知・啓発と共に、耐震化が進んでいない地域に対して、さらに効果的な啓発を進めていく。	・出前講座は実施する事が出来なかったが、新規手法として市公式LINE・YouTubeを活用した新たな周知・啓発を行った。	・出前講座やイベント出展において、耐震シェルター模型を展示するなど、新たな手法で周知・啓発を行った。			
年度ごとの達成状況	◎	◎			

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
耐震補助制度を活用し改修・除却された木造住宅等の件数（累計）	「枚方市木造住宅耐震改修事業補助金交付要綱」に基づく木造住宅耐震改修補助等により改修・除却（解体）した件数（累計）	850	900	950	1000	件	住宅まちづくり課	1. 住宅・建築物の耐震補助 2. 住宅・建築物耐震化の推進
各年度の実績		850	910			件	備考	
【施策指標の分析 R6】 補助要件の緩和に加え、年初の震災により申請件数が増加した結果、目標を達成できた。								
【施策指標の分析 R7】 耐震補助金の予算範囲内、各補助メニュー間の調整を行う運用に変更したことによる補助件数の増加や、例年の周知啓発に加え、デジタルサイネージやバス車内広告の掲示を実施したことにより、目標以上の達成となった。								
耐震化に関する所有者への周知啓発件数	耐震化が進んでいない地域へのアンケートの発送数及び耐震診断後のフォローアップのDM数の合計	500	500	750	750	件	住宅まちづくり課	1. 住宅・建築物の耐震補助 2. 住宅・建築物耐震化の推進
各年度の実績		967	526			件	備考	
【施策指標の分析 R6】 例年の周知啓発に加え、補助要件緩和による再度のフォローアップを実施したことにより目標以上の達成となった。								
【施策指標の分析 R7】 令和6年度の耐震診断補助件数の増加に伴い、診断後のフォローアップのDMが増えたため、目標以上の達成となった。								

施策シート【01_02】－ 具体的な取り組み

危機管理部、都市整備部

施策名称	防災意識の向上
------	---------

3. 地区防災計画・個別避難計画の作成支援

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
地区防災計画の策定支援及び個別避難計画の策定支援を実施。	・地区防災計画の策定（8校区） ・個別避難計画の策定支援（1自治会）	・地区防災計画の策定（8校区） ・個別避難計画作成支援開始（セルフプラン方式）	・地区防災計画の策定（1校区） ・個別避難計画策定の継続	・地区防災計画の策定の継続（自治会）と更新 ・個別避難計画策定の継続	危機管理 対策推進 課
取り組み課題・今後の方向性	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	備考
引き続き校区や自治会が地域の特性に応じた計画を策定できるような取り組みを推進していく。	・地区防災計画の策定：11校区 ・個別避難計画の策定支援：1自治会	・地区防災計画の策定：2校区、1自治会。 ・セルフプラン方式で個別避難計画の策定を推進するため全対象者へ計画を送付した。			
年度ごとの達成状況	◎	○			

施策名称	防災意識の向上
------	---------

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
地区防災計画の策定件数	市の地域防災計画に掲載した地区防災計画数（校区自主防災組織、自治会などが作成）	地区防災計画策定校区数（累計）35	地区防災計画策定校区数（累計）43	地区防災計画策定校区数（累計）44	地区防災計画策定校区数（累計）44	校区	危機管理対策推進課	3. 地区防災計画・個別避難計画の作成支援
各年度の実績		34	36			校区	備考	
【施策指標の分析 R6】 令和6年度は全体版（10校区0自治会）、届出避難所版（3自治会）、広域避難版（1校区）の合計11校区、3自治会にて策定。								
【施策指標の分析 R7】 令和7年度は全体版（2校区0自治会）、届出避難所版（1自治会）合計2校区、1自治会にて策定。								
個別避難計画の策定件数（自治会）	個別避難計画の策定に至った自治会数	個別避難計画策定自治会数（累計）3	個別避難計画策定自治会数（累計）4	個別避難計画策定自治会数（累計）5	個別避難計画策定自治会数（累計）6	自治会	危機管理対策推進課	3. 地区防災計画・個別避難計画の作成支援
各年度の実績		2	2			自治会	備考	
【施策指標の分析 R6】 1自治会（西船橋自治会）策定でR6の目標値（1自治会）は達成。 （※西船橋自治会内で3件策定）								
【施策指標の分析 R7】 自治会主体での個別避難計画策定には支援者や支援方法など課題が多いため、令和7年度からセルフプラン方式による計画策定を導入し並行して計画策定を推進している。								
個別避難計画の策定件数（セルフプラン方式）	セルフプラン方式により個別避難計画の策定に至った件数（累計）	－	4,800	4,820	4,840	件	危機管理対策推進課	3. 地区防災計画・個別避難計画の作成支援
各年度の実績		－	3,233			件	備考	
【施策指標の分析 R6】 令和7年度の事業開始に向けた準備を行った。								
【施策指標の分析 R7】 個別避難計画の策定を推進するため、対象者へ計画を送付した。								

施策シート【01_02】－ 具体的な取り組み

危機管理部、都市整備部

施策名称	防災意識の向上
------	---------

4. 自主防災組織の活動支援

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
校区自主防災組織による資機材設置訓練や避難所開設訓練（訓練準備）の実施を引き続き支援。 地域の防災ルール（地区防災計画など）作成・改善の支援。	自主防災訓練結果をフィードバックし、マニュアルや地区防災計画を策定又は改善	継続	継続	継続	危機管理 対策推進 課
取り組み課題・今後の方向性	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	備考
引き続き学校や校区と協議を重ね、避難所開設訓練や地区防災計画の改善の支援に取り組んでいく。	地区防災訓練の作成支援と避難所運営マニュアルのひな型の改定を行った。	校区自主防災組織が行う訓練の支援と地区防災計画の作成支援を行った。			
年度ごとの達成状況	◎	◎			

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
自主防災組織による訓練実施回数	自主防災組織が実施した訓練の総回数	42	42	44	44	回	危機管理対策推進課	4. 自主防災組織の活動支援
各年度の実績		43	50			回	備考	
【施策指標の分析 R6】 ほぼ予想どおりの結果となった。引き続き訓練実施に向けた打ち合わせ等の支援に努めていく。								
【施策指標の分析 R7】 自主防災訓練回数が伸びた。引き続き訓練実施に向け支援に努めていく。								

施策シート【01_02】－ 具体的な取り組み

危機管理部、都市整備部

施策名称	防災意識の向上
------	---------

5. 危険な盛土等に対する規制の強化

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
災害時における崖崩れや土砂の流出を未然に防止するため、宅地造成及び特定盛土等規制法に基づき規制を強化。	・市全域を規制区域に指定 ・法に基づく許可・検査業務等の実施 ・既存盛土の応急対策の必要性判断等の調査実施	・法に基づく許可・検査業務等の実施	継続	継続	審査指導課
取り組み課題・今後の方向性	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	備考
法に基づく許可・検査業務等の実施	令和6年4月1日に市全域を規制区域に指定し、また、法に基づく基礎調査を実施し、市内の既存盛土の分布状況等の把握を行った。	・法12条許可件数：17件 ・法17条完了検査件数：17件			
年度ごとの達成状況	◎	◎			

※関連指標なし

施策シート【01_02】－ 具体的な取り組み

危機管理部、都市整備部

施策名称	防災意識の向上
------	---------

6. 既存民間建築物吹付けアスベスト含有調査補助

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
吹付けアスベストが施工されているおそれがある建築物の所有者が実施する分析調査に対し、国が事業費を補助。	－	既存民間建築物吹付けアスベスト含有調査補助制度の運用	継続	継続	審査指導課
取り組み課題・今後の方向性	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	備考
効果的な啓発手法を検討し制度の普及に努める必要がある。	補助制度を創設した。	活用実績なし			
年度ごとの達成状況	◎	△			

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
吹付けアスベスト含有調査補助制度を活用し、分析調査を実施した件数（累計）	「枚方市既存民間建築物吹付けアスベスト含有調査補助金交付要綱」に基づき、吹付けアスベストの分析調査を実施した件数	－	2	4	6	件	審査指導課	6. 既存民間建築物吹付けアスベスト含有調査補助
各年度の実績		－	0			件	備考	
【施策指標の分析 R6】 令和6年度実績なし（令和7年度から事業開始）								
【施策指標の分析 R7】 補助制度についての相談があったものの、補助要件に該当せずに目標に未達。次年度は、情報提供の充実に努める。								

4. 取組満足度と関心・期待度・ニーズの4象限マトリクス分析

防災体制が整っている
01_02 防災意識の向上

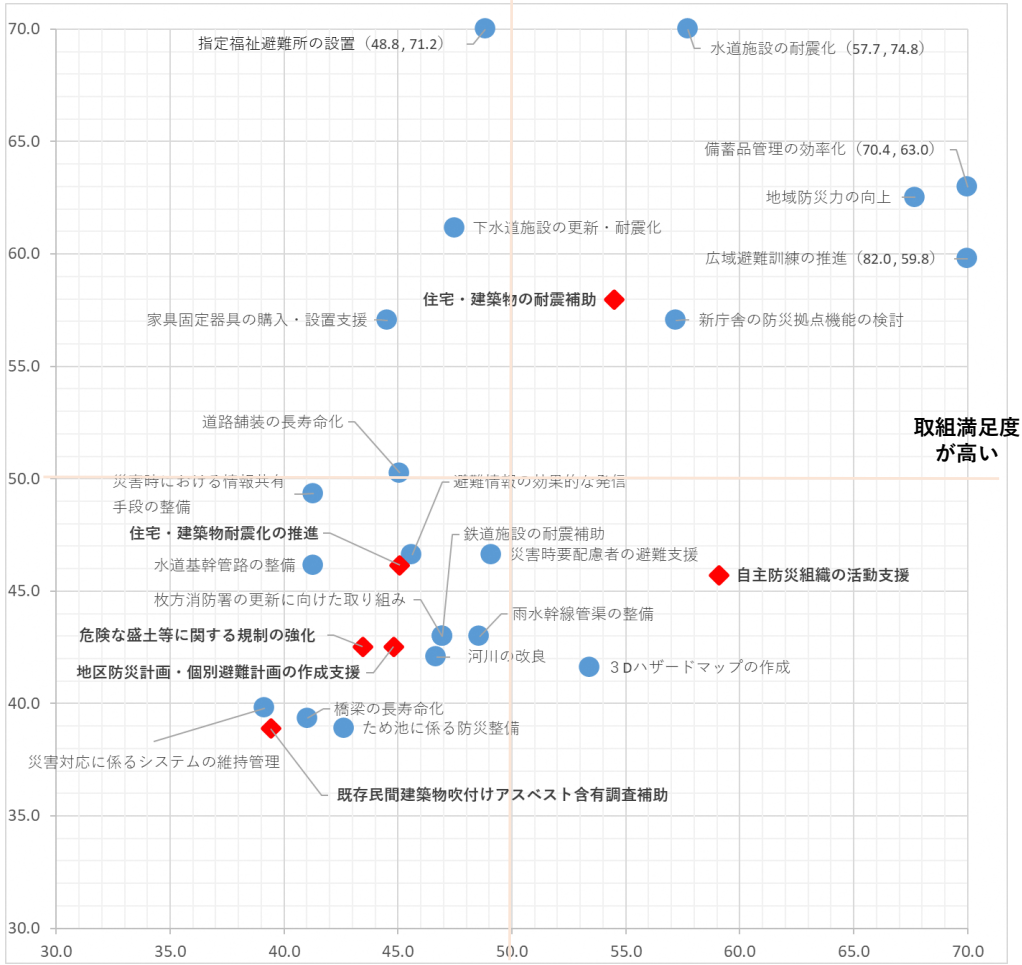
施策満足度		
満足	不満足	どちらとも いえない わからない
29.2%	15.8%	55.1%
「決め手となった取り組みはない」と 回答した人		
13.7%		

※回答数／全体数1,762

※満足の定義は、「感じている」「やや感じている」を選択した人で、
不満足の定義は、「あまり感じていない」「感じていない」を選択した人

※各施策における取組満足度や関心・期待度・ニーズを分析するものであり、異なる施策間での比較を行うものではありません。

関心・期待度・ニーズが高い



目指すべき姿
(施策満足度)『防災体制が整っている』に紐づく全取り組み⇒青丸●

上記のうち施策シート『01_02 防災意識の向上』に紐づく取り組み⇒赤ダイヤ◆

施策の分析

- ・「1. 住宅・建築物の耐震補助」の関心・期待度・ニーズは高いものの、取組満足度は平均的である。
- ・「4. 自主防災組織の活動支援」の関心・期待度・ニーズは平均的であるものの、取組満足度は高い。
- ・「2. 住宅・建築物耐震化の推進」の関心・期待度・ニーズと取組満足度はともに平均的である。
- ・「3. 地区防災計画・個別避難計画の作成支援」、「5. 危険な盛土等に対する規制の強化」、「6. 既存民間建築物吹付けアスベスト含有調査補助」の関心・期待度・ニーズと取組満足度はともに低い。

5. 評価を踏まえた今後の方向性

今後の方向性

- ・施策全体の方向性としては、引き続き、住宅・建築物の耐震化や地域の特性に応じた地区防災計画・個別避難計画の作成支援など、地域の防災力のさらなる向上を目指す。
- ・「1. 住宅・建築物の耐震補助」は、引き続き、周知・啓発を継続し、耐震化に対する関心が低い所有者への意識啓発を行っていく。
- ・「3. 地区防災計画・個別避難計画の作成支援」は、地域とも連携しながら作成促進に向けた取り組みを進めるとともに、新たに対象となる個人へのセルフプラン方式による「個別避難計画」の作成促進に取り組んでいく。

1. 施策の概要

施策シート【01_03】

都市整備部、土木部、上下水道部

施策名称		都市基盤の計画的な維持管理	
総合計画体系	基本目標等	1.安全で、利便性の高いまち	
	施策目標等	1.災害に対する備えができているまち	
めざす姿（主観的満足度）		防災体制が整っている	
概要		道路、橋梁、上下水道などの都市基盤を計画的に維持管理し、災害に強いまちづくりを進める。	
計画期間 中の 実施予定 時期	R6年度	1. 水道施設の耐震化 2. 下水道施設の更新・耐震化 3. 水道基幹管路の整備 4. 河川の改良 5. 橋梁の長寿命化 6. 道路舗装の長寿命化 7. 鉄道施設の耐震補助	
	R7年度		
	R8年度		
	R9年度		
		7. 鉄道施設の耐震補助 ○耐震補助の実施	

2. 市民満足度、取り組み実績および施策指標の分析

市民満足度の分析

【満足度29.2%】

- ・年代別では、最も満足度が高いのは20歳台で43.5%、最も低いのは30歳台で25.3%である。
- ・昨年度と比較すると全体では、5.7ポイント低下したものの、若者世代（24歳以下）では、13.3ポイント上昇した。

取り組み実績および施策指標の分析

【取り組み実績】

- ・施策の進捗としては、概ね達成できている。また、今年度より実施している「7. 鉄道施設の耐震補助」については予定通り枚方市駅から御殿山駅の高架橋の耐震補強工事への補助を実施した。

【施策指標】

- ・「浄水施設の耐震化率」、「配水池の耐震化率」、「管路の耐震化」、「大規模断水を伴う管路事故件数」、「舗装長寿命化計画における補修延長距離」は目標達成している。「ポンプ場の耐震化率」、「橋梁長寿命化計画における修繕率」については、未達成である。

3. 具体的な取り組みの進捗と施策指標の実績

施策シート【01_03】－ 具体的な取り組み

都市整備部、土木部、上下水道部

施策名称	都市基盤の計画的な維持管理
------	---------------

1. 水道施設の耐震化

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
増大する老朽化施設や、発生が予想される大地震等への対応のため、「枚方市水道施設整備基本計画」に基づき、水道施設の更新・耐震化を推進。	主な事業箇所 ・中宮浄水場更新耐震化 ・妙見山配水池更新耐震化 ・送配水管更新耐震化(中宮浄水場～春日受水場他)	継続	継続	主な事業箇所 ・磯島取水場関連更新耐震化 継続	浄水課 上水道工務課
取り組み課題・今後の方向性	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	備考
引き続き「枚方市水道施設整備基本計画」に基づき、水道施設の更新・耐震化に取り組む。 引き続き「枚方市水道施設整備基本計画」に基づき、管路の更新・耐震化を行い安定した水道水の供給に取り組む。	中宮浄水場更新耐震化工事の実施、妙見山配水池更新基本設計委託の契約を締結した。 送配水管更新耐震化工事を実施し、中宮浄水場～春日受水場間送水管更新工事を発注した。	中宮浄水場更新耐震化工事の実施、妙見山配水池更新基本設計委託が完了した。 東香里高架水槽及び楠葉配水場高架水槽のプースターポンプ化により耐震化に取り組んだ。 引き続き中宮浄水場～春日受水場間送水管更新工事を実施した。			
年度ごとの達成状況	◎	◎			

施策シート【01_03】ー 施策指標

都市整備部、土木部、上下水道部

施策名称	都市基盤の計画的な維持管理
------	---------------

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
浄水施設の耐震化率	(耐震対策の施された浄水施設能力／全浄水施設能力)	0	0	0	84.6	%	浄水課	1. 水道施設の耐震化
各年度の実績		0	0			%	備考	
【施策指標の分析 R6】 令和9年度の工事完成をめざし、膜ろ過棟・前処理施設の築造に取り組んでいるため、令和6年度末の浄水施設の耐震化率は0%である。								
【施策指標の分析 R7】 令和9年度の工事完成をめざし、膜ろ過棟・前処理施設の築造に取り組んでいるため、令和6年度末の浄水施設の耐震化率は0%である。								
配水池の耐震化率	(耐震対策の施された配水池有効容量／配水池有効容量) (R12年度：79.4%予定)	71.3	71.3	71.4	71.4	%	浄水課	1. 水道施設の耐震化
各年度の実績		71.3	71.4			%	備考	
【施策指標の分析 R6】 令和12年度の工事完成をめざし、妙見山配水池の更新・耐震化の基本設計に取り組んでいるため、令和6年度末の配水池の耐震化率は71.3%である。								
【施策指標の分析 R7】 令和12年度の工事完成をめざし、妙見山配水池の更新・耐震化の基本設計に取り組んでいる。また、東香里高架水槽及び楠葉配水場高架水槽のプースターポンプ化により耐震化率は71.4%である。								
管路の耐震化率	(耐震管の延長/管路の総延長)	29.5	30.3	30.6	31.1	%	上水道工務課	1. 水道施設の耐震化
各年度の実績		29.9	30.5			%	備考	
【施策指標の分析 R6】 他企業と競合する一部事業については、事業間調整により次年度繰越となったものの、指標については目標通り達成できた。								
【施策指標の分析 R7】 他企業と競合する一部事業については、事業間調整により次年度繰越となったものの、指標については目標通り達成できた。								

施策シート【01_03】－ 具体的な取り組み

都市整備部、土木部、上下水道部

施策名称	都市基盤の計画的な維持管理
------	---------------

2. 下水道施設の更新・耐震化

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
増大する老朽化施設や、発生が予想される大地震等への対応のため、「枚方市下水道整備基本計画」に基づき、下水道施設の更新・耐震化を推進。	主な事業箇所 ・溝谷川ポンプ場受変電設備更新 ・サダポンプ場ポンプ棟耐震化	主な事業箇所 ・サダポンプ場受変電設備更新 ・黒田川ポンプ場ポンプ棟耐震化	主な事業箇所 ・黒田川ポンプ場電気設備更新	ポンプ場設備更新	上下水道政策課、下水道整備課
取り組み課題・今後の方向性	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	備考
雨水ポンプ場の特性により、雨季での施工が困難な事業や、更新と耐震化の施工箇所が重複するなどの課題があり、効率的な取り組みが必要となる。	令和6年度予定の雨水ポンプ場に係る更新・耐震化については、一部繰越が生じたが、概ね達成することができた。	令和7年度予定の雨水ポンプ場に係る更新・耐震化については、一部繰越が生じたが、概ね達成することができた。			
年度ごとの達成状況	○	○			

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
ポンプ場の耐震化率	(耐震性を有する施設数/ポンプ場内施設数(77施設※)) ※雨水ポンプ場11施設、汚水ポンプ場2施設、計13ポンプ場内の施設数	33.8	44.2	55.8	70.1	%	上下水道政策課、下水道整備課	2. 下水道施設の更新・耐震化
各年度の実績		39.0	42.9			%	備考	
【施策指標の分析 R6】 ポンプ棟の耐震化工事(3施設)や耐震診断結果(6施設)により、耐震性を有する施設が増加した。(30施設/77施設)								
【施策指標の分析 R7】 ポンプ棟の耐震化工事(3施設)により、耐震性を有する施設が増加した。(33施設/77施設)								

施策シート【01_03】－ 具体的な取り組み

都市整備部、土木部、上下水道部

施策名称	都市基盤の計画的な維持管理
------	---------------

3. 水道基幹管路の整備

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
基幹管路の送水管を更新。	中宮浄水場から春日受水場間の送水管更新	継続	継続	継続	上水道工務課
取り組み課題・今後の方向性	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	備考
引き続き「枚方市水道施設整備基本計画」に基づき、管路の更新・耐震化を行い安定した水道水の供給に取り組む。	中宮浄水場～春日受水場間送水管更新工事を発注した。	引き続き中宮浄水場～春日受水場間送水管更新工事を実施した。			
年度ごとの達成状況	◎	◎			

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
大規模断水を伴う管路事故件数	管路事故件数（断減水の影響が100戸を超えるもの）	0	0	0	0	件	上水道工務課	3. 水道基幹管路の整備
各年度の実績		0	0			件	備考	
【施策指標の分析 R6】 指標の達成度については、目標通りであった。基幹管路工事発注手続きについては、予定通り事業の発注を行うことができた。								
【施策指標の分析 R7】 指標の達成度については、目標通りであった。基幹管路工事については、予定通り事業を行うことができた。								

施策シート【01_03】－ 具体的な取り組み

都市整備部、土木部、上下水道部

施策名称	都市基盤の計画的な維持管理
------	---------------

4. 河川の改良

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
枚方市準用河川（穂谷川・宗谷川）整備基本計画を策定し、計画的に河道改修や護岸工事などの整備事業を推進。	河道改修や護岸工事などの整備順序や事業化の時期を検討し、事業化の時期が決まり次第、事業を推進	継続	継続	継続	道路河川整備課
取り組み課題・今後の方向性	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	備考
今後、河道改修や護岸工事などの整備順序や事業化の時期を検討し、事業化の時期が決まり次第、事業を推進する。	事業化の時期の検討	事業化の時期の検討			
年度ごとの達成状況	△	△			

※関連指標なし

施策名称	都市基盤の計画的な維持管理
------	---------------

5. 橋梁の長寿命化

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
橋梁の修繕補強工事を実施。	無名58号橋、無名176号橋、無名169号橋	越前林高架橋	無名105号橋、西禁野橋、無名99号橋	無名235号橋、無名91号橋、無名212号橋、無名224号橋	道路河川管理課、道路河川整備課
取り組み課題・今後の方向性	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	備考
「橋梁長寿命化修繕計画」に基づき、国の交付金を積極的に活用し、計画的な修繕補強工事を実施する。	無名58号橋、無名176号橋、無名169号橋	施工内容、施工方法及び施工時期について庁内協議を実施			庁内協議により、R7年度より1年遅れて施工
年度ごとの達成状況	◎	△			

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
橋梁長寿命化計画における修繕率	橋梁長寿命化修繕計画に基づく整備済橋梁数／計画における整備予定橋梁数	46	49	57	68	%	道路河川管理課、道路河川整備課	5. 橋梁の長寿命化
各年度の実績		46	46			%	備考	
【施策指標の分析 R6】 枚方市橋梁長寿命化計画に基づき、予防保全並びに維持管理費の縮減と平準化を図るため、構造物の劣化補修並びに耐震基準に基づく修繕補強工事を行っている。令和6年度は、3橋の修繕工事を実施した。							庁内協議により、R7年度より1年遅れて施工	
【施策指標の分析 R7】 枚方市橋梁長寿命化計画に基づき、予防保全並びに維持管理費の縮減と平準化を図るため、構造物の劣化補修並びに耐震基準に基づく修繕補強工事を行っている。令和7年度は、庁内協議により工程調整を行い、工事実施時期を令和8年度に変更したことから、令和7年度の修繕率が目標値に届いていない。								

施策シート【01_03】－ 具体的な取り組み

都市整備部、土木部、上下水道部

施策名称	都市基盤の計画的な維持管理
------	---------------

6. 道路舗装の長寿命化

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
道路の大規模修繕、改築までのライフサイクルを延長し、コストの平準化を図る。計画更新、計画対象路線の拡充。	・予防保全型補修工事 ・次年度へ向けた詳細設計委託	継続	継続	継続	道路河川補修課
取り組み課題・今後の方向性	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	備考
・主要道路リフレッシュ整備事業との計画共有を図り、また更なる計画的な予防保全型の維持補修を推進するため、計画対象路線を拡充し、効率的な維持管理を行う。	・予防保全型補修工事 ・詳細設計委託 ・計画対象路線の追加	・予防保全型補修工事 ・詳細設計委託			
年度ごとの達成状況	◎	◎			

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
舗装長寿命化計画における補修延長距離	舗装補修を実施した年間補修延長距離	2,500	2,500	2,500	2,500	m	道路河川補修課	6. 道路舗装の長寿命化
各年度の実績		3,389	3,813			m	備考	
【施策指標の分析 R6】 予防保全型補修について計画通りに進めた。今後も引き続き実施していく。								
【施策指標の分析 R7】 予防保全型補修について計画通りに進めた。今後も引き続き実施していく。								

施策シート【01_03】－ 具体的な取り組み

都市整備部、土木部、上下水道部

施策名称	都市基盤の計画的な維持管理
------	---------------

7. 鉄道施設の耐震補助

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
列車の安全・安定輸送、鉄道利用者の安全確保等を図るため、鉄道施設の耐震補強事業に要する経費の一部を補助。	—	枚方市駅～御殿山駅間の高架橋の耐震補強（3箇所）	—	—	都市計画課
取り組み課題・今後の方向性	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	備考
令和6年度に制定した補助金交付要領に基づき、国・大阪府と協調して鉄道事業者が実施する鉄道施設の耐震補強事業費の一部を補助することで、鉄道施設の耐震補強事業を推進する。	枚方市鉄道施設耐震補強事業費補助金交付要領の制定	枚方市駅～御殿山駅間の高架橋の耐震補強工事（3箇所）について補助金を交付			
年度ごとの達成状況	◎	◎			

※関連指標なし

4. 取組満足度と関心・期待度・ニーズの4象限マトリクス分析

関心・期待度・ニーズが高い

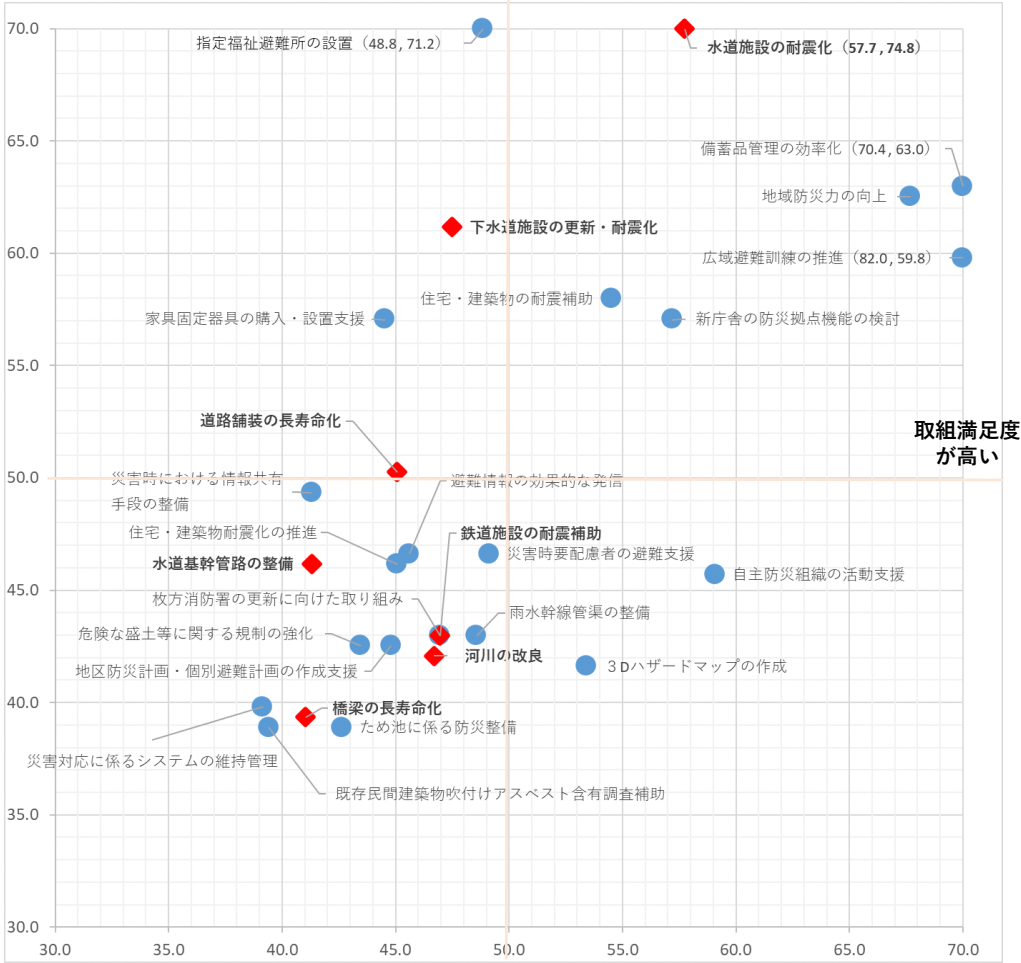
防災体制が整っている
01_03 都市基盤の計画的な維持管理

施策満足度		
満足	不満足	どちらとも いえない わからない
29.2%	15.8%	55.1%
「決め手となった取り組みはない」と 回答した人		
13.7%		

※回答数／全体数1,762

※満足の定義は、「感じている」「やや感じている」を選択した人で、
不満足の定義は、「あまり感じていない」「感じていない」を選択した人

※各施策における取組満足度や関心・期待度・ニーズを分析するものであり、異なる施策間での比較を行うものではありません。



目指すべき姿
(施策満足度)『防災体制が整っている』に紐づく全取り組み⇒青丸●

上記のうち施策シート『01_03 都市基盤の計画的な維持管理』に紐づく取り組み⇒赤ダイヤ◆

施策の分析

- ・「1. 水道施設の耐震化」は、関心・期待度・ニーズと取組満足度はともに高い。
- ・「2. 下水道施設の更新・耐震化」は、満足度は平均的なものの、関心・期待度・ニーズは高い。
- ・「6. 道路舗装の長寿命化」は、関心・期待度・ニーズと取組満足度はともに平均的である。
- ・「3. 水道基幹管路の整備」は、取組満足度が低く、関心・期待度・ニーズは平均的である。
- ・「4. 河川の改良」、「7. 鉄道施設の耐震補助」は、関心・期待度・ニーズは低いものの、満足度は平均的である。
- ・「5. 橋梁の長寿命化」の関心・期待度・ニーズと取組満足度はともに低い。

5. 評価を踏まえた今後の方向性

今後の方向性

- ・施策全体の方向性として、インフラは市民生活の都市基盤施設であることから、引き続き、道路、橋梁、上下水道について計画に基づいた維持管理を行い、取り組みを推進していく。
- ・「2. 下水道施設の更新・耐震化」は各ポンプ場の耐震化工事や耐震性能の確保に向けた取り組みを推進していく。

1. 施策の概要

施策シート[01-04]

上下水道部

施策名称		浸水被害の軽減			
総合計画体系	基本目標等	1.安全で、利便性の高いまち			
	施策目標等	1.災害に対する備えができているまち			
めざす姿（主観的満足度）		防災体制が整っている			
概要		公共下水道の雨水排水施設の計画的な整備を進めるなど、浸水被害の軽減を図る。			
計画期間 中の 実施予定 時期	R6年度				
		1. 雨水幹線管渠の整備			
	R7年度				
	R8年度				
	R9年度	1. 雨水幹線管渠の整備 ○整備完了（藤阪地区） ○整備工事開始（内野排水路）			

2. 市民満足度、取り組み実績および施策指標の分析

市民満足度の分析

【満足度29.2%】

- ・年代別では、最も満足度が高いのは20歳台で43.5%、最も低いのは30歳台で25.3%である。
- ・昨年度と比較すると全体では、5.7ポイント低下したものの、若者世代（24歳以下）では、13.3ポイント上昇した。

取り組み実績および施策指標の分析

【取り組み実績】

- ・施策の進捗としては、概ね達成できている。

【施策指標】

- ・指標については、目標値を達成している。

3. 具体的な取り組みの進捗と施策指標の実績

1. 雨水幹線管渠の整備

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
下水道事業計画に基づく雨水幹線管渠を整備 ①藤阪元町地区 ②内野排水路	①整備に向けた支障物件の移設及び事業用地取得 ②基礎検討	①主要な雨水幹線管渠の整備、これに伴う支障物件の移設及び事業用地取得 ②基本設計委託	①継続 ②実施設計委託	①整備完了 ②整備工事	上下水道政策課、下水道整備課
取り組み課題・今後の方向性	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	備考
①狭隘な生活道路での施工となり、地域の方々のご理解・協力を得ながら、令和9年度の事業完成に向け取り組む。 ②基礎検討を踏まえ、基本設計委託により整備の方向性を明確にする。	①工事に先立ち、ガス、水道、NTTの支障物件の移設工事を行った。 ②基礎検討を実施した。	①主要な雨水幹線管渠の整備及びこれに伴う支障物件の移設に着手した。 ②基本設計委託を発注した。			
年度ごとの達成状況	○	○			

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
主要な雨水幹線管渠の整備率	主要な雨水幹線管渠の整備延長距離／計画延長距離	46.3	46.3	46.3	46.5	%	上下水道政策課、下水道整備課	1. 雨水幹線管渠の整備
各年度の実績		46.3	46.3			%	備考	
【施策指標の分析 R6】 指標の上昇はないものの、藤阪元町地区の整備が完了する令和9年度に向けて取り組みを進めている。								
【施策指標の分析 R7】 指標の上昇はないものの、藤阪元町地区の整備が完了する令和9年度に向けて取り組みを進めている。								

4. 取組満足度と関心・期待度・ニーズの4象限マトリクス分析

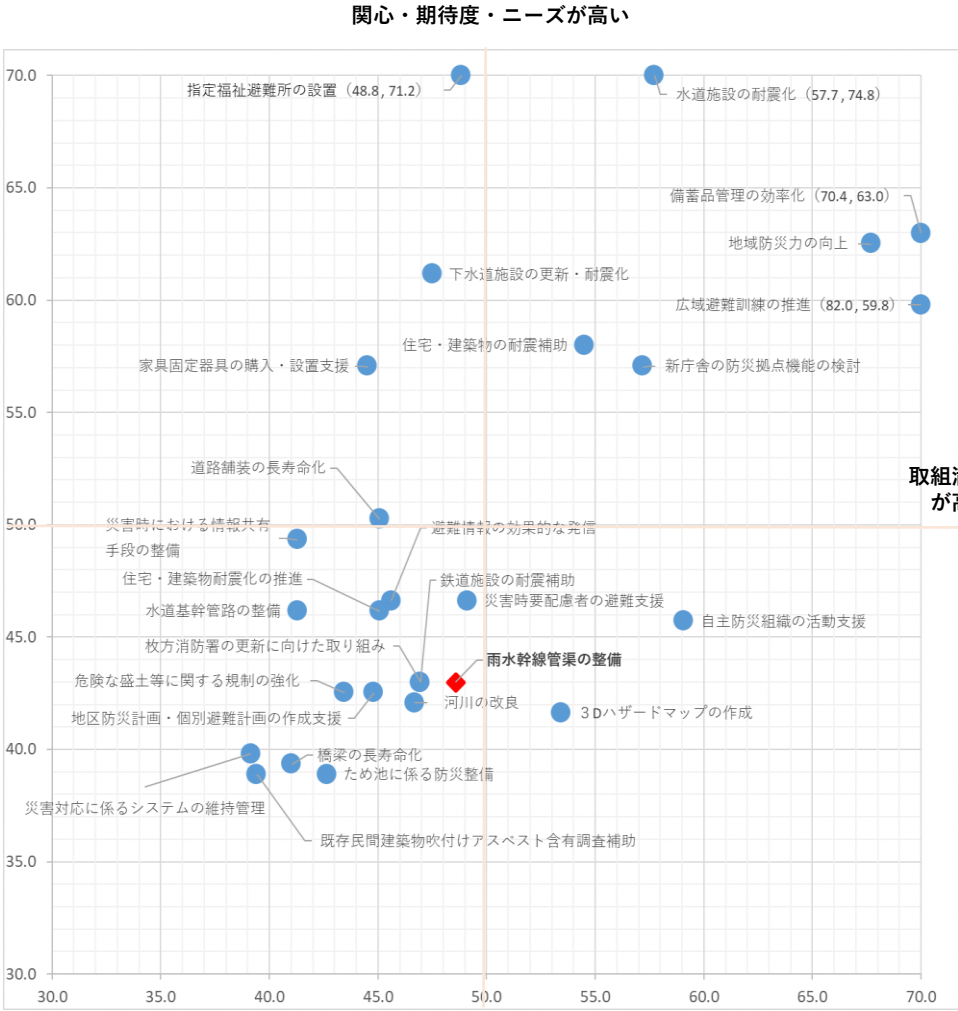
防災体制が整っている
01_04 浸水被害の軽減

施策満足度		
満足	不満足	どちらとも いえない わからない
29.2%	15.8%	55.1%
「決め手となった取り組みはない」と 回答した人		
13.7%		

※回答数／全体数1,762

※満足の定義は、「感じている」「やや感じている」を選択した人で、
不満足の定義は、「あまり感じていない」「感じていない」を選択した人

※各施策における取組満足度や関心・期待度・ニーズを分析するものであり、異なる施策間での比較を行うものではありません。



目指すべき姿
(施策満足度)『防災体制が整っている』に紐づく全取り組み⇒青丸●

上記のうち施策シート『01_04 浸水被害の軽減』に紐づく取り組み⇒赤ダイヤ◆

施策の分析

・「1. 雨水幹線管渠の整備」は、関心・期待度・ニーズが低く、取組満足度は平均的である。

5. 評価を踏まえた今後の方向性

今後の方向性

- ・施策全体の方向性として、浸水被害リスクに備えるため、関係機関との協議も進めながら引き続き排水施設の整備を図っていく。

1. 施策の概要

施策シート[02_01]

危機管理部、観光にぎわい部

施策名称		災害情報の迅速かつ正確な提供
総合計画体系	基本目標等	1.安全で、利便性の高いまち
	施策目標等	2.災害時に、迅速・的確に対応できるまち
めざす姿（主観的満足度）		防災体制が整っている
概要		緊急情報をさまざまな情報発信手段を活用しながら、迅速かつ正確に地域に提供する体制を整える。
計画期間 中の 実施予定 時期	R6年度	1. 災害時における情報共有手段の整備 2. 災害対応に係るシステムの維持管理 3. 避難情報の効果的な発信 4. 3Dハザードマップの作成 5. ため池に係る防災整備
	R7年度	
	R8年度	
	R9年度	4. 3Dハザードマップの作成【拡充】 ○ハザードマップの委託発注

2. 市民満足度、取り組み実績および施策指標の分析

市民満足度の分析

【満足度29.2%】

- ・年代別では、最も満足度が高いのは20歳台で43.5%、最も低いのは30歳台で25.3%である。
- ・昨年度と比較すると全体では、5.7ポイント低下したものの、若者世代（24歳以下）では、13.3ポイント上昇した。

取り組み実績および施策指標の分析

【取り組み実績】

- ・施策の進捗としては、概ね達成できている。

【施策指標】

- ・「情報伝達手段の整備件数」、「自動音声配信電話サービスへの登録者数」は、未達成だが、目標には近づいている。「避難情報を認知している市民の割合」は未達成。

3. 具体的な取り組みの進捗と施策指標の実績

施策シート【02_01】ー 具体的な取り組み

危機管理部、観光にぎわい部

施策名称	災害情報の迅速かつ正確な提供
------	----------------

1. 災害時における情報共有手段の整備

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
災害等発生時に、庁内関係部署や警察、消防・その他関係機関と情報の共有を行い、連携を図るため、庁内等における情報共有手段の整備、維持	・他機関との継続的な通信訓練 ・現行デジタルMCA無線に代わる庁内情報伝達手段（令和11年5月末で現サービスが終了）の整備に向けた調査（その他デジタルMCA無線の後継機種かIP無線を導入すべきか等の判断資料の収集等）	・他機関との継続的な通信訓練 ・新たな情報伝達手段の選定に向けた情報収集及び整備箇所の精査 ・国による新サービスに関する補助等の情報収集	・他機関との継続的な通信訓練 ・新たな情報伝達手段の選定及び整備計画の策定	・他機関との継続的な通信訓練 ・新たな情報伝達手段の一部整備または試行導入に向けた配備先及び台数等の精査	危機管理政策課
取り組み課題・今後の方向性	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	備考
市組織の非常時の情報伝達手段として整備するデジタルMCA無線について、令和11年5月末のサービス終了をもって使用できなくなることから、その他の非常時情報伝達手段の導入を検討する必要がある。	定期的な通信訓練のほか、デジタルMCA無線に代わる市組織間の非常時情報伝達手段について情報収集を行った。	定期的な通信訓練のほか、デジタルMCA無線に代わる市組織間の非常時情報伝達手段や国の動向について情報収集を行った。			
年度ごとの達成状況	○	○			

※関連指標なし

施策名称	災害情報の迅速かつ正確な提供
------	----------------

2. 災害対応に係るシステムの維持管理

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
①防災行政無線システム（同報系・地域防災系）の保守 ②気象情報システム計測震度計等の保守	既存システムの適切な保守	継続	継続	継続	危機管理 対策推進 課
取り組み課題・今後の方向性	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	備考
各種システムの保守を行い、災害時に適切に使用できる環境を維持した。	定期的な運用保守を実施した。	定期的な運用保守を実施した。			
年度ごとの達成状況	◎	◎			

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
災害時に遅滞なく市民へ情報伝達できた割合	（エリアメール・緊急速報メール発信回数／避難情報発令回数）＋（自動音声配信サービス発信回数／避難情報発令件数）} ÷ 2	100	100	100	100	%	危機管理対策推進課	2. 災害対応に係るシステムの維持管理
各年度の実績		—	—			%	備考	
【施策指標の分析 R6】 避難指示等の発令を必要とする災害は発生しなかった。								
【施策指標の分析 R7】 避難指示等の発令を必要とする災害は発生しなかった。								
情報伝達手段の整備件数	既存の情報伝達手段は、テレビ、ラジオ、防災行政無線、防災行政無線電話応答サービス、ホームページ、エリアメール・緊急速報メール、SNS（LINE、X）、自動音声配信電話サービス、Vacanの合計10種。	10	11	11	11	件	危機管理対策推進課	2. 災害対応に係るシステムの維持管理 3. 避難情報の効果的な発信
各年度の実績		10	10			件	備考	
【施策指標の分析 R6】 目標数値には達しているが、新たな導入に向け効果的な手段を検討中。								
【施策指標の分析 R7】 新たな導入に向け効果的な手段を検討を進めた。								

施策シート【02_01】ー 具体的な取り組み

危機管理部、観光にぎわい部

施策名称	災害情報の迅速かつ正確な提供
------	----------------

3. 避難情報の効果的な発信

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
自動音声配信電話サービスの普及、災害情報を広く効果的に伝達するため、デジタルサイネージなどを活用した情報の発信	情報伝達手段の追加を検討	情報伝達手段の追加	継続	継続	危機管理 対策推進 課
取り組み課題・今後の方向性	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	備考
自動音声配信電話の要件を満たす方が広く市内に散らばっているため、引き続き制度案内を行っていく必要がある。	災害時の情報伝達手段の追加を検討した。	災害時の情報伝達手段として各避難所看板に枚方市危機管理ポータルサイトにリンクできるQRコードを貼り付ける検討を行った。			
年度ごとの達成状況	○	○			

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
自動音声配信電話サービスへの登録者数	自動音声配信電話サービスへの登録者数	90	100	110	120	人	危機管理対策推進課	3. 避難情報の効果的な発信
各年度の実績		80	81			人	備考	
【施策指標の分析 R6】 イベント等でパンフレットを配布して制度周知に努めた。								
【施策指標の分析 R7】 イベント等でのパンフレットの配布や出前講座での説明で制度周知に努めた。								
情報伝達手段の整備件数	既存の情報伝達手段は、テレビ、ラジオ、防災行政無線、防災行政無線電話応答サービス、ホームページ、エリアメール・緊急速報メール、SNS（LINE、X）、自動音声配信電話サービス、Vacanの合計10種。	10	11	11	11	件	危機管理対策推進課	2. 災害対応に係るシステムの維持管理 3. 避難情報の効果的な発信
各年度の実績		10	10			件	備考	
【施策指標の分析 R6】 目標数値には達しているが、新たな導入に向け効果的な手段を検討中。								
【施策指標の分析 R7】 新たな導入に向け効果的な手段を検討を進めた。								
避難情報を認知している市民の割合	(避難情報を認知している市民) / (アンケート回答者数)	80	85	85	90	%	危機管理対策推進課	3. 避難情報の効果的な発信
各年度の実績		76	66			%	備考	
【施策指標の分析 R6】 スマホアンケートにより把握。								
【施策指標の分析 R7】 スマホアンケートにより把握。								

施策シート【02_01】－ 具体的な取り組み

危機管理部、観光にぎわい部

施策名称	災害情報の迅速かつ正確な提供
------	----------------

4. 3Dハザードマップの作成

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
視覚的にわかりやすい3Dハザードマップの作成	他市事例などの情報を収集	本市で実現可能な3Dハザードマップの方式を精査	仕様の精査	ハザードマップの全戸配布と併せて委託発注	危機管理 対策推進 課
取り組み課題・今後の方向性	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	備考
防災ガイドの全戸配布に向け、直感的に災害リスクが把握できる3Dマップの導入を検討しているが、市民が誰でも閲覧できる環境にするにはコストが掛かるため、閲覧方法の検討が必要。	複数の3Dモデルを浸水リスクに重ね合わせる方法の検討を実施した。	複数の3Dモデルを浸水リスクに重ね合わせる方法として、ゲーグルアースで閲覧できる仕組みを検討した。			
年度ごとの達成状況	○	◎			

※関連指標なし

施策シート【02_01】－ 具体的な取り組み

危機管理部、観光にぎわい部

施策名称	災害情報の迅速かつ正確な提供
------	----------------

5. ため池に係る防災整備

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
避難基準の策定に必要な議論や情報収集等の実施、避難基準の策定に向けた資料の素案作成、歩行困難度や家屋倒壊危険度の検討、公表	ため池ハザードマップの改定	避難基準の策定と周知・啓発 (ため池ハザードマップ含む)	継続	継続	農業振興課
取り組み課題・今後の方向性	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	備考
ハザードマップや避難基準を災害時の避難行動に役立てることが必要。ハザードマップ、避難基準については、危機管理部と協議しながら、公表し、周知を図る。	16池でため池ハザードマップを改定し、新たに1池のマップを作成した。	ため池ハザードマップの改定後、広報ひらかたでの周知や各ため池管理者への説明を行った。また、防災ガイドへの掲載に向けて危機管理部と調整を行った。			
年度ごとの達成状況	◎	◎			

※関連指標なし

4. 取組満足度と関心・期待度・ニーズの4象限マトリクス分析

関心・期待度・ニーズが高い

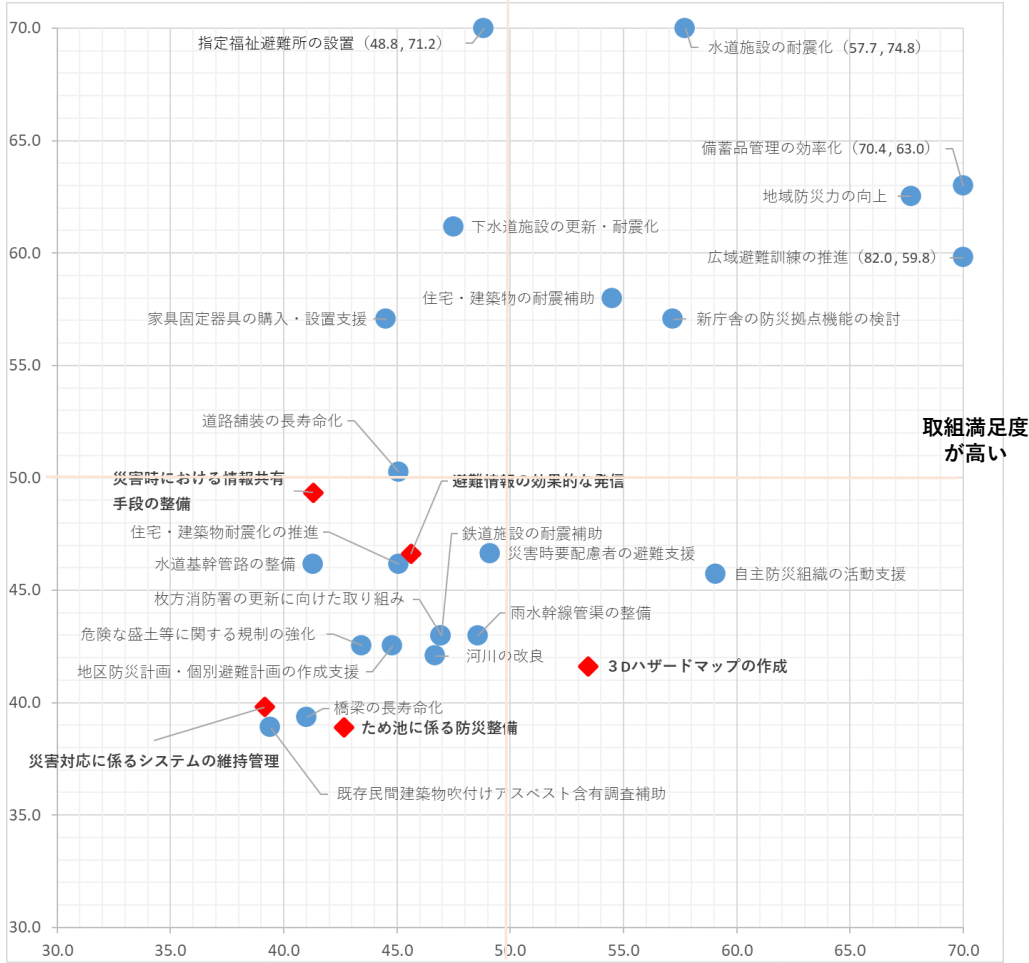
防災体制が整っている
02_01 災害情報の迅速かつ正確な提供

施策満足度		
満足	不満足	どちらとも いえない わからない
29.2%	15.8%	55.1%
「決め手となった取り組みはない」と回答した人		
13.7%		

※回答数／全体数1,762

※満足の定義は、「感じている」「やや感じている」を選択した人で、
不満足の定義は、「あまり感じていない」「感じていない」を選択した人

※各施策における取組満足度や関心・期待度・ニーズを分析するものであり、異なる施策間での比較を行うものではありません。



目指すべき姿
(施策満足度)『防災体制が整っている』に紐づく全取り組み⇒青丸●

上記のうち施策シート『02_01 災害情報の迅速かつ正確な提供』に紐づく取り組み⇒赤ダイヤ◆

施策の分析

- ・「3. 避難情報の効果的な発信」の関心・期待度・ニーズと取組満足度はともに平均的である。
- ・「1. 災害時における情報共有手段の整備」は、満足度は低く、関心・期待度・ニーズは平均的である。
- ・「4. 3Dハザードマップの作成」は、関心・期待度・ニーズは低く、満足度は平均的である。
- ・「2. 災害対応に係るシステムの維持管理」、「5. ため池に係る防災整備」の関心・期待度・ニーズと取組満足度はともに低い。

5. 評価を踏まえた今後の方向性

今後の方向性

- ・施策全体の方向性として、引き続き、実際に災害が発生した際に、滞りなく市民に情報発信ができるように、ホームページやSNSなどさまざまな情報発信手段を活用しながら、取り組みを市民に周知するとともに、関係部署間で連携し、体制を整備しながら、組織能力を高めていく。
- ・「1. 災害時における情報共有手段の整備」については、デジタルMCA無線に代わる非常時情報伝達手段の選定と整備計画の策定を進める。
- ・「5. ため池に係る防災整備」についてはため池ハザードマップの認知度を上げていく。

1. 施策の概要

施策シート[03_01]

危機管理部

施策名称		防犯体制の整備			
総合計画体系	基本目標等	1.安全で、利便性の高いまち			
	施策目標等	3.暮らしに身近な安全が確保されたまち			
めざす姿（主観的満足度）		防犯体制が整い、身近な安全が確保されている			
概要		警察や地域との連携を強化しながら、防犯体制の整備を進めるとともに、地域の防犯意識を高める。			
計画期間 中の 実施予定 時期	R6年度				
		1. 防犯カメラの整備 2. 防犯灯の整備 3. 青色防犯パトロールの支援			
	R7年度				
	R8年度				
	R9年度				

2. 市民満足度、取り組み実績および施策指標の分析

市民満足度の分析

【満足度26.5%】

- ・年代別では、20歳台が最も高く、39.1%である。最も低いのは、40歳台で20.8%であった。
- ・昨年度と比較すると全体では、8.9ポイント減少したが子育て世代（25～44歳）で0.5ポイント増加した。

取り組み実績および施策指標の分析

【取り組み実績】

- ・施策の進捗としては、すべて計画通りに進めることができている。

【施策指標】

- ・「犯罪発生件数」、「地域が設置管理するLED防犯灯の取替率」は、未達成であるものの、目標値に近づいている。

3. 具体的な取り組みの進捗と施策指標の実績

1. 防犯カメラの整備

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
防犯カメラ各賃貸借契約満了に伴う更新時の増設に向けた調整等の実施	既設の354台の更新の契約手続き（増設にかかる台数及び関係団体との調整）	既設の354台の更新と14台の増設（R7.4.1稼働開始）	既設の680台の更新にかかる増設台数の調整及び関係団体との調整	既設の680台の更新の契約手続き（R9.10.1稼働開始）	危機管理政策課
取り組み課題・今後の方向性	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	備考
市内の通学路等を中心に設置する1,000台を超える街頭防犯カメラについて、適切に維持管理を実施していく。	既設354台の更新に加え、地域要望について市民全体の費用負担や公平性、有効性などの観点で選定し、枚方・交野両警察署とも協議の上14台の増設を行った。	更新・増設分も含めた1,048台について、適切に維持・管理を実施した。			
年度ごとの達成状況	◎	◎			

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
犯罪発生件数	市内の刑法犯罪発生件数（1日当たり）	4.0	3.9	3.8	3.7	件	危機管理政策課	1. 防犯カメラの整備
各年度の実績		5.1	4.9			件	備考	
【施策指標の分析 R6】 コロナ禍が明け人流が戻ったことにより、本市だけでなく大阪府下全域で発生件数が増加している。								
【施策指標の分析 R7】 防犯カメラの整備、青色防犯パトロールや特殊詐欺被害防止啓発の実施により、発生件数が減少した。								

2. 防犯灯の整備

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
現行の防犯灯補助制度について、地域毎の配分の精査を随時実施、補助制度の見直し	各支部毎の予算配分の精査	- 各支部毎の予算配分の精査 - 枚方市防犯協議会への新たな制度概要等の説明及び意見聴取等を実施し、制度設計を進める。 - 新制度を地域に広報周知	- 各支部毎の予算配分の精査 - 令和8年4月から見直し後の補助制度（申請受付）を開始。	継続	危機管理政策課
取り組み課題・今後の方向性	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	備考
- 各支部毎の予算配分の精査。 - 令和8年4月からの新たな制度について、制度設計を進めるとともに、地域に周知を図る。	10年間の予算計画について、概ね3年毎に予算の見直しを行うこととしており、各支部の状況をモニタリングしたうえで配分予算の見直しを行った。	令和8年度から実施する市直接補助制度を創設し、地域への周知を行った。			
年度ごとの達成状況	◎	◎			

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
地域が設置管理するLED防犯灯の取替率	地域が設置管理しているLED防犯灯において、計画どおり補助申請がなされる率。（全支部から申請のあった取替本数/年間想定取替本数）	100	100	100	100	%	危機管理政策課	2. 防犯灯の整備
各年度の実績		69.6	74			%	備考	
【施策指標の分析 R6】 防犯灯の取替の進捗は地域差があることから、今後も予防的交換も含め計画的に取替を進めていただくよう周知する必要がある。								
【施策指標の分析 R7】 引き続き制度の周知を行ったことにより取替率が増加した。								

3. 青色防犯パトロールの支援

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
校区コミュニティ協議会等が実施するパトロールに要する経費の補助	補助金のあり方について検討を行う	補助金のあり方について検討を行い、制度の見直し	検討結果の対応	—	危機管理 政策課
取り組み課題・今後の方向性	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	備考
現状のまま継続する。	R5年度に地域に対して実施したアンケート調査に基づき、補助金のあり方について検討を行った。	補助金のあり方について検討を行った。			
年度ごとの達成状況	◎	◎			

※関連指標なし

4. 取組満足度と関心・期待度・ニーズの4象限マトリクス分析

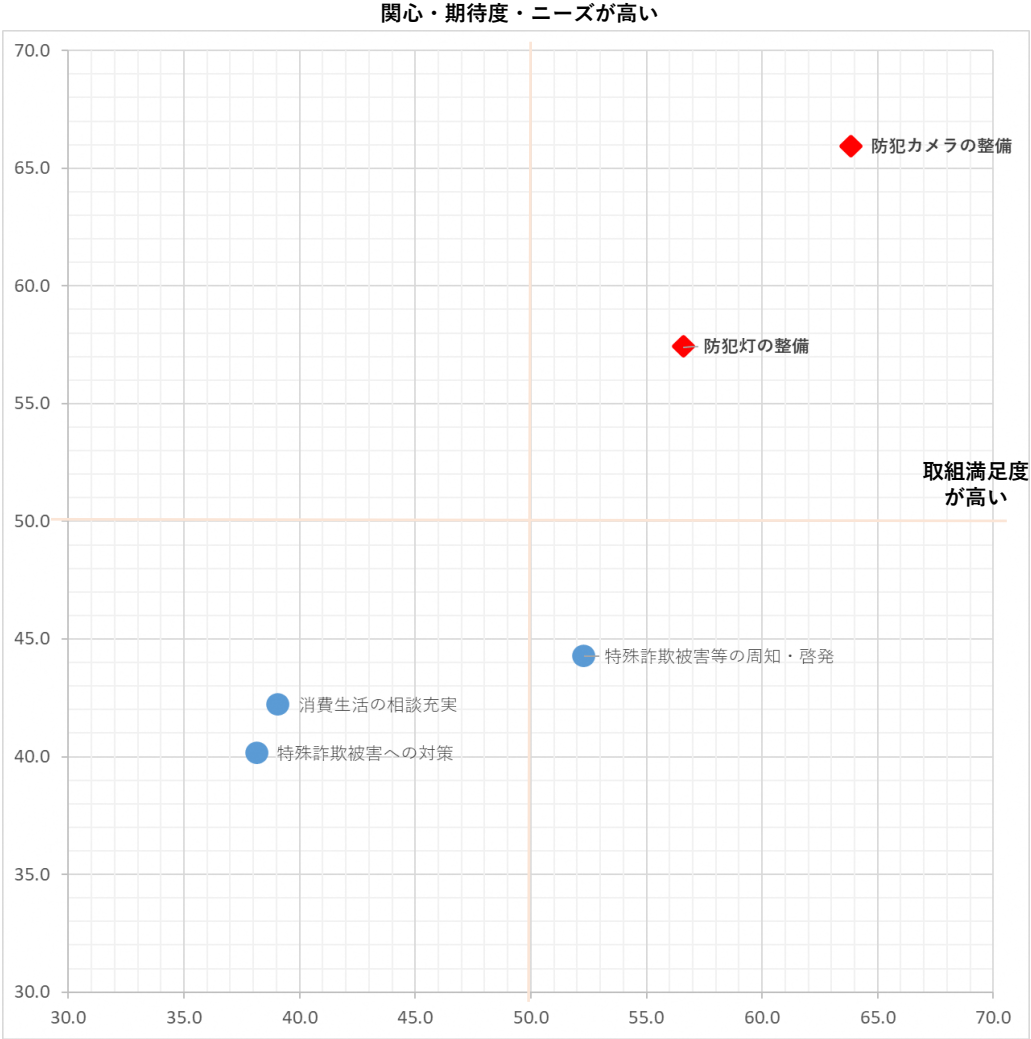
身近な安全が確保されている
03_01 防犯体制の整備

施策満足度		
満足	不満足	どちらとも いえない わからない
26.5%	19.4%	54.0%
「決め手となった取り組みはない」と 回答した人		
17.5%		

※回答数／全体数1,762

※満足の定義は、「感じている」「やや感じている」を選択した人で、
不満足の定義は、「あまり感じていない」「感じていない」を選択した人

※各施策における取組満足度や関心・期待度・ニーズを分析するものであり、異なる施策間での比較を行うものではありません。



目指すべき姿
(施策満足度)『身近な安全が確保されている』に紐づく全取り組み⇒青丸●

上記のうち施策シート『03_01 防犯体制の整備』に紐づく取り組み⇒赤ダイヤ◆

施策の分析

・「1. 防犯カメラの整備」、「2. 防犯灯の整備」の関心・期待度・ニーズと取組満足度はともに高いことから、防犯意識の高まりが影響していると考えられる。

5. 評価を踏まえた今後の方向性

今後の方向性

- ・施策全体の方向性として、引き続き、警察や地域等と連携しながら本市の安全・安心のさらなる推進を図っていく。
- ・「2. 防犯灯の整備」については、地域防犯活動を担う自治会等が設置・管理する防犯灯について、新設・取替・修繕費用や電気料金を補助することにより、安全安心なまちを維持向上させ、地域の防犯力強化をさらに進める。